

## ＜スタッフ紹介＞

| 役 職         | スタッフ名        |
|-------------|--------------|
| 部長兼呼吸器センター長 | 土井 貴司        |
| 副医長         | 磯野 友美 (3月入職) |
| 非常勤医員       | 高橋 朋宏        |

## ＜特色と概要＞

当科は呼吸器外科学会専門医制度による認定修練施設である。対象疾患は肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、気胸、血胸、膿胸、胸水貯留、胸部外傷などがある。

## ＜実績＞

## 【外来診療】

外来診療日は水曜の午前午後と木曜の午後であった。2024年度の外来診療実績は、外来延べ患者数は2,155人、1日平均8.9人であった。このほか救急外来で気胸に対して胸腔ドレーン挿入を臨時で行った。

## 【入院診療】

入院病床の当科定数は8階海側病棟5床を受け持った。入院診療実績は、延べ入院患者数は2,848人、1日平均7.8人であった。また他科の気胸やがん性胸膜炎などの胸水貯留に対応した。

## 【手術】

手術室での呼吸器外科の予定手術枠は、火曜日の1日枠に加えて、木曜日の午前枠を獲得できた。手術件数は96件で、大阪大学附属病院呼吸器外科の協力をえて、完全胸腔鏡下手術を主に施行した。

## 【気管支鏡検査】

泉南新家クリニックの吉野谷清和先生の協力をえて、71件を施行した。病理診断科からは細胞検査士によるベッドサイドでの検査中の迅速細胞診のおかげで、肺癌の正診率を格段に改善できた。2025年3月からはリンパ節穿刺用の超音波気管支鏡(BF-UC290F)を導入でき、低侵襲な縦隔肺門リンパ節生検が可能となった。

## 【がん薬物療法】

術後およびその再発症例、切除不能症例に対してマルチ遺伝子検査とPD-L1検査の結果をみて、最新の肺癌診療ガイドラインに準じたがん薬物療法を施行した。点滴を要する場合には1コース目を入院管理とし、2コース目以降は外来化学療法室で行った。

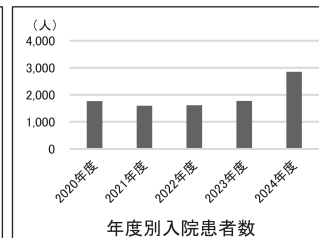
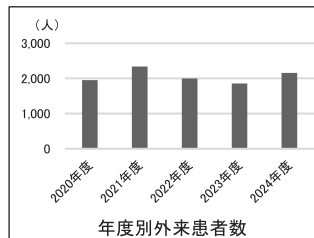
## 【放射線療法】

放射線治療センターにて化学放射線療法や放射線単独療法を行った。定位照射は当院ではできないため、他院に

紹介した。

患者数(外来及び入院、延べ人数の推移) (人)

| 年度     | 外来    |      | 入院    |      |
|--------|-------|------|-------|------|
|        | 延べ患者数 | 1日平均 | 延べ患者数 | 1日平均 |
| 2020年度 | 1,952 | 8.0  | 1,768 | 4.8  |
| 2021年度 | 2,339 | 9.7  | 1,597 | 4.4  |
| 2022年度 | 1,995 | 8.2  | 1,614 | 4.4  |
| 2023年度 | 1,856 | 7.6  | 1,770 | 4.8  |
| 2024年度 | 2,155 | 8.9  | 2,848 | 7.8  |



2024年度の手術実績 (件)

| 疾患名     | 件数 |
|---------|----|
| 肺癌      | 40 |
| 転移性肺腫瘍  | 6  |
| 縦隔腫瘍    | 5  |
| 気胸      | 23 |
| 膿胸      | 10 |
| 悪性胸膜中皮腫 | 2  |
| 外傷      | 3  |
| そのほか    | 7  |
| 合計      | 96 |

## ＜来年度への抱負＞

地域からの紹介に対して極力全例の受け入れを目指し、泉南地区における呼吸器診療の中心的役割を担えるように努める。また学術面でも力をいれて積極的に学会参加、発表を行う。